

# せいめい小委員会報告

---

渡邊 誠（岡山理科大学）

# せいめい小委員会 委員

- 渡邊 誠(岡山理科大; 委員長)
- 野上大作(京都大)
- 本田敏志(兵庫県立大)
- 福井暁彦(東京大)
- 松岡良樹(愛媛大)
- 前原裕之(国立天文台)
- 長田哲也(京都大) ※ 職名による委員
- 泉浦秀行(国立天文台) ※ 職名による委員

せいめい望遠鏡の  
共同利用観測に関する  
SACとTACの役割を担う

任期: 1期2年(通例2期)

現委員の任期は2021年9月末まで  
渡邊, 野上が退任予定

# せいめい小委員会の活動 (2020年後期 その1)

- 2020年9月7日：2020年度第3回せいめい小委員会
  - 2021A公募準備(10月2日公募開始, 10月30日締切)
  - データアーカイブ
    - ⇒ 2020Bのキャリブレーションデータ(バイアス, フラット等)は年内を目処に公開予定, 気象データの公開も検討する
  - 国外からの公募
    - ⇒ 将来的には受け入れが妥当, 受け入れ方法を検討し, UM等で要議論
  - リモート観測, キュー観測に向けた整備の進め方
    - ⇒ リモート観測はマンパワー的に当面は受け入れ困難, 京大以外から接続する場合のネットワーク構成も検討が必要
    - ⇒ 最初の段階として手動登録したキューを観測者の監視のもとで実行可能とすることを2021年度末頃までの目標とする

# せいめい小委員会の活動 (2020年後期 その2)

---

- 2020年11月6日： 2020年度第4回せいめい小委員会
  - 2021A応募状況確認
  - ToO観測
    - ⇒ 発動が採択夜に比べて大幅に少ない。
    - ⇒ アンケートによる調査を検討する
  - 共同利用実施状況
    - ⇒ 10月にセグメント鏡剥離で2夜キャンセル, トラブル解消後2夜とも補填

# せいめい小委員会の活動 (2020年後期 その3)

- 2020年12月1日：2020年度第5回せいめい小委員会(2021A採択会議)
  - 共同利用は70夜相当
  - 申請: クラシカル12(+1※)件(95夜), ToO8件(20.32夜), このうち9件は新規  
※ToO1件はクラシカルを含む課題
    - 倍率: 夜数ベースで  $(95+20.32)/70 = 1.64$ 倍
    - カテゴリ: 太陽系(1件5夜), 恒星(9件57.8夜), 系外惑星(1件8夜), 系外銀河(8件43夜), その他(1件1.6夜)
  - 採択: クラシカル8(+1※)件(62.5夜), ToO8件(18.9夜)
    - 採択課題: 太陽系(1件2.5夜), 恒星(9件52.3夜), 系外銀河(5件25.8夜), その他(1件0.8夜)
    - 不採択課題: 系外惑星(1件8夜), 系外銀河(3件14夜)

# せいめい小委員会の活動 (2021年前期 その1)

- 2021年2月15日： 2020年度第6回せいめい小委員会
  - ToO実施状況確認
    - ⇒ 20A: 14回3.1夜, 20B: 4回1.5夜, 21A: 5回0.6夜(2月15日時点)
    - ⇒ ToO観測課題採択者にToO発動に関するアンケートを実施する
  - TriCCS(京大3色同時撮像カメラ)の共同利用時間での供用
    - ⇒ まずは機能限定で公開希望。共同利用にむけて審査する(3月22日)
  - Guaranteed Timeの是非 ⇒ UMにて要議論
  - リモート観測 ⇒ 京大ネットワーク内にVPNルーターを設置する方針
- 2021年3月22日： 2020年度第7回せいめい小委員会(TriCCS審査)
  - TriCCS審査(装置グループのプレゼン+質疑)
    - ⇒ 審査結果: 21Bからリスクシェアにて公開
    - ⇒ 問題点(フラット, 迷光)はWebページ等で情報公開
  - 2021B公募準備(10月2日公募開始, 5月7日締切)

# せいめい小委員会の活動 (2021年前期 その2)

- 2021年6月14-17日：2021年度第1回せいめい小委員会(2021B採択会議)
  - 共同利用は62夜相当
  - 申請: クラシカル13(+1※)件(84夜), ToO11件(30.77夜), このうち11件は新規  
※ToO1件はクラシカルを含む課題
    - 倍率: 夜数ベースで  $(84+30.77)/70 = 1.85$ 倍
    - カテゴリ: 太陽系(2件19.67夜), 恒星(12件51.5夜), 系外惑星(1件9夜), 銀河系(2件11.8夜), 系外銀河(7件22.8夜)
  - 採択: クラシカル10(+1※)件(52夜), ToO10件(27.1夜)
    - 採択課題: 太陽系(2件10.5夜), 恒星(12件50夜), 銀河系(1件3.8夜), 系外銀河(6件14.8夜)
    - 不採択課題: 系外惑星(1件9夜), 銀河系(1件8夜), 系外銀河(1件3夜)

# せいめい小委員会の活動 (2021年前期 その3)

---

- 2021年7月1日：2021年度第2回せいめい小委員会
  - リモート観測の公開 ⇒ 無人観測体制が必要，早くても22Aから
  - インテンシブあるいは長期枠
  - ToO発動状況，アンケート結果
    - ⇒ 21A：割当18.9夜，発動3.5夜(25回)
    - ⇒ ほとんどの人が京大時間にも申請。そのために共同利用時間への発動が半分になるとすれば晴天率1/3も考慮すると採択夜の1/6で実態に近い
- 2021年7月27日：2021年度第3回せいめい小委員会
  - 後任委員選出
    - ⇒ 光赤天連からの推薦を元に2名を選出，すばる科学諮問委員会に承認依頼
  - UM議題
    - ⇒ インテンシブor長期プログラム，学位支援枠(Thesisチェック)，GT，リモート観測，キュー観測

# 今後の検討課題

---

- 新しい共同利用装置の審査・受け入れ
  - 直近では高分散分光装置GAOES-RVか(2022A or 2022Bから?)
  - 高速測光分光装置, 近赤外相対測光分光器IRS, 近赤外偏光撮像装置も続くはず
- インテンシブor長期プログラム, サービス観測
  - まずは必要性・方式についてユーザー意見回収
- Thesisチェックありのプロポーザルの扱い
- Guaranteed Timeの是非, 割り当て方法
- リモート観測の運用方法
- キュー観測実現へのロードマップ